

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第49週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (49 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：つつが虫病 5 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	結核性リンパ節炎	なし
			80歳代	女	肺結核	なし
		日南	0~4歳	男	無症状病原体保有者	なし
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、刺し口、だるさ
		都城	70歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、肝障害
		小林	60歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹、食欲不振、咽頭痛
			70歳代	男	—	発熱、発疹
			70歳代	男	—	発疹、腹痛、肝機能障害

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,896 人(定点当たり 78.3)で、前週比 129%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 170 人(2.9)で、前週比 121%と増加した。日南(6.6)、延岡(5.0)、高千穂(3.5)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

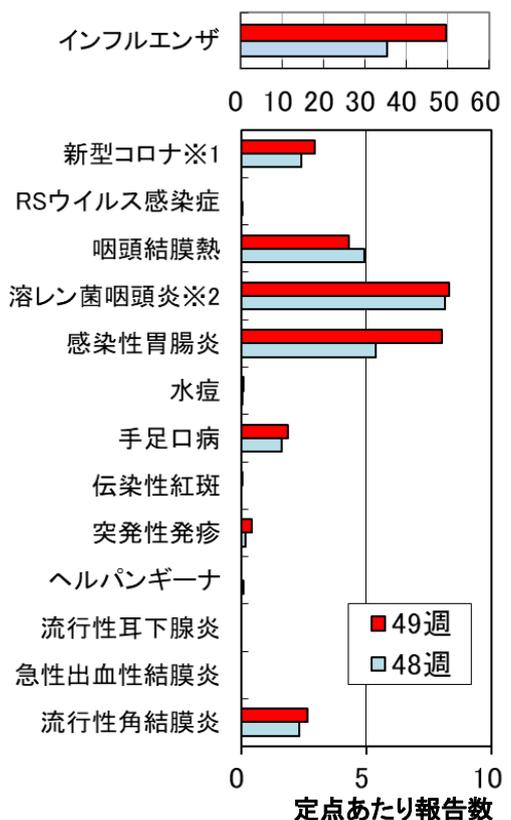
報告数は 2,879 人(49.6)で、前週比 140%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約 25.4 倍であった。高鍋(78.3)、延岡(63.6)、中央(63.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 299 人(8.3)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約 3.4 倍であった。日南(18.3)、都城(12.5)、宮崎市(11.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

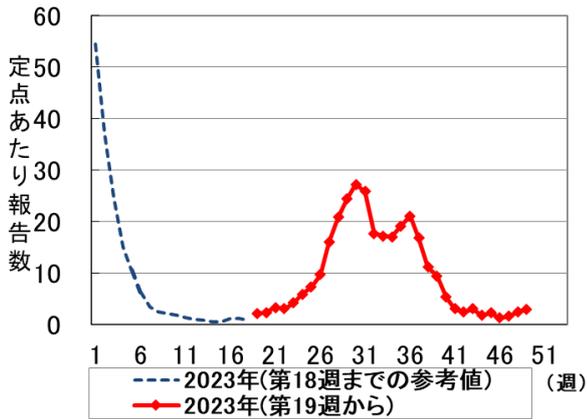
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

《前週との比較》

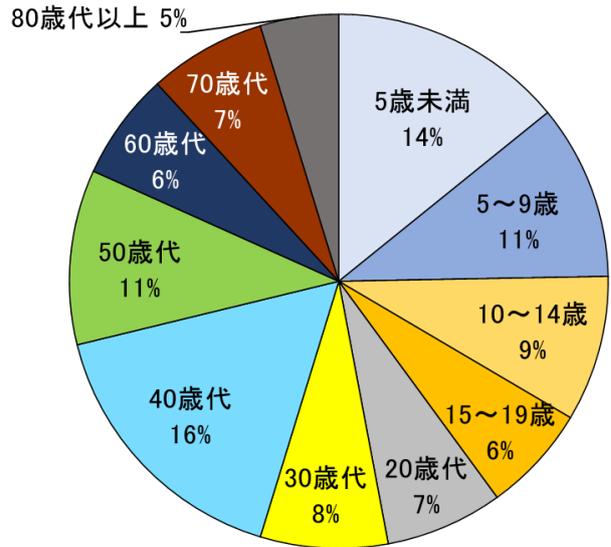


※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

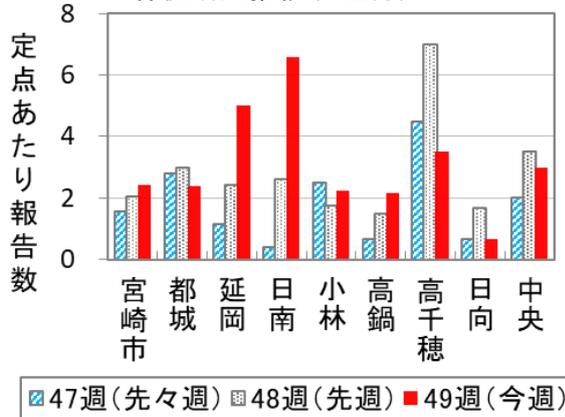


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第49週)

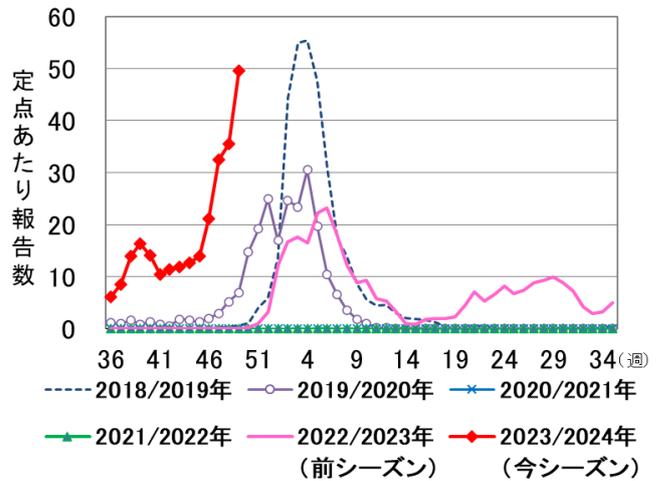


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

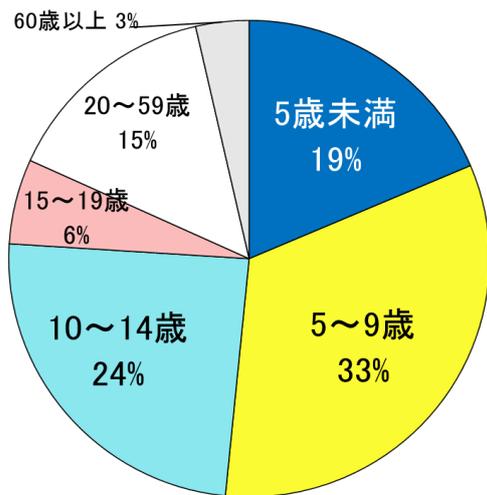
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



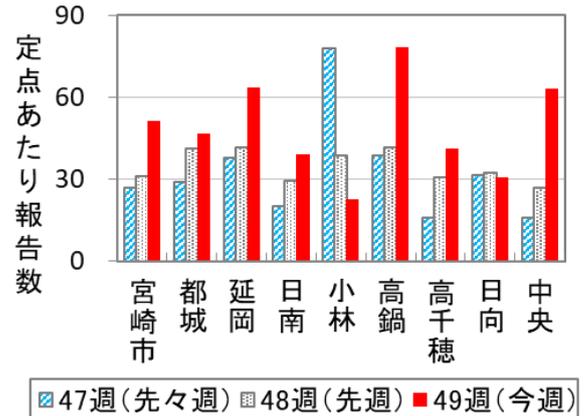
インフルエンザ 発生状況



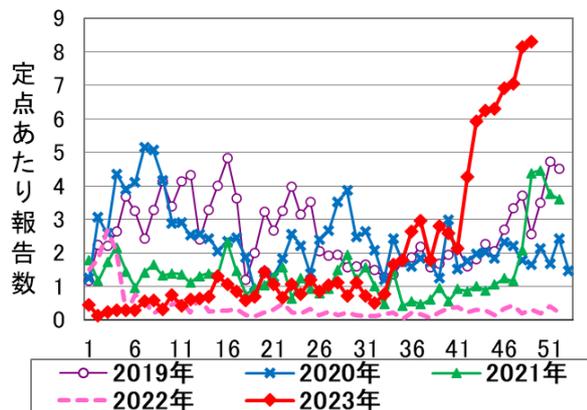
インフルエンザ年齢群別グラフ(第49週)



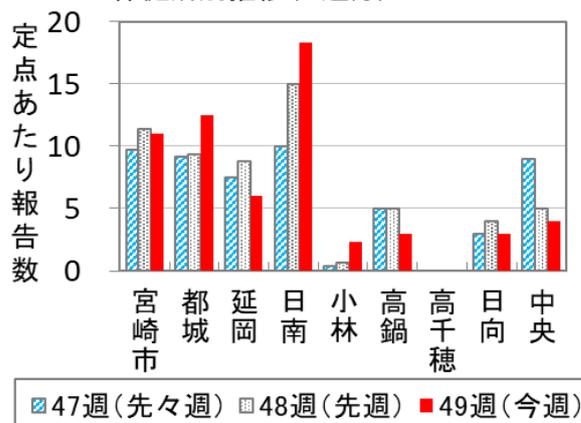
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(51.3)、咽頭結膜熱(5.3)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)
都城	インフルエンザ(46.5)、咽頭結膜熱(9.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.5)
延岡	インフルエンザ(63.6)、咽頭結膜熱(7.3)
日南	インフルエンザ(39.2)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(18.3)
小林	インフルエンザ(22.8)
高鍋	インフルエンザ(78.3)
高千穂	インフルエンザ(41.0)
日向	インフルエンザ(30.7)
中央	インフルエンザ(63.0)、咽頭結膜熱(5.0)

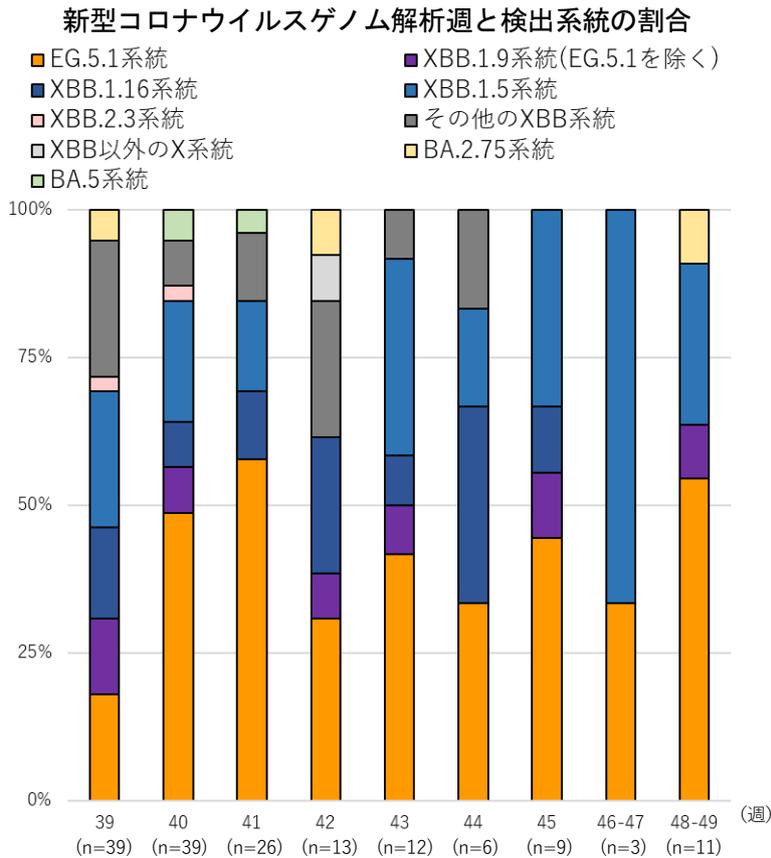
※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）



XBB 系統は第 48-49 週で約 91%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 55%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は B. J. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2023 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	279 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	64 例	パラチフス	1 例
	E型肝炎	11 例	エムボックス	1 例	コクシジオイデス症	1 例
4類感染症	つつが虫病	53 例	デング熱	7 例	日本紅斑熱	3 例
	レジオネラ症	37 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例
	水痘(入院例)	13 例	梅毒	180 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	百日咳	22 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比100%と横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎、水痘及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は132,117人(26.7)で前週比94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約18.3倍であった。北海道(50.5)、宮城県(42.7)、福岡県(40.1)、長野県(40.1)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は13,103人(4.2)で前週比108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約2.8倍であった。鳥取県(10.5)、宮崎県(8.1)、富山県(7.8)からの報告が多く、年齢群別では4歳から8歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2023年11月>

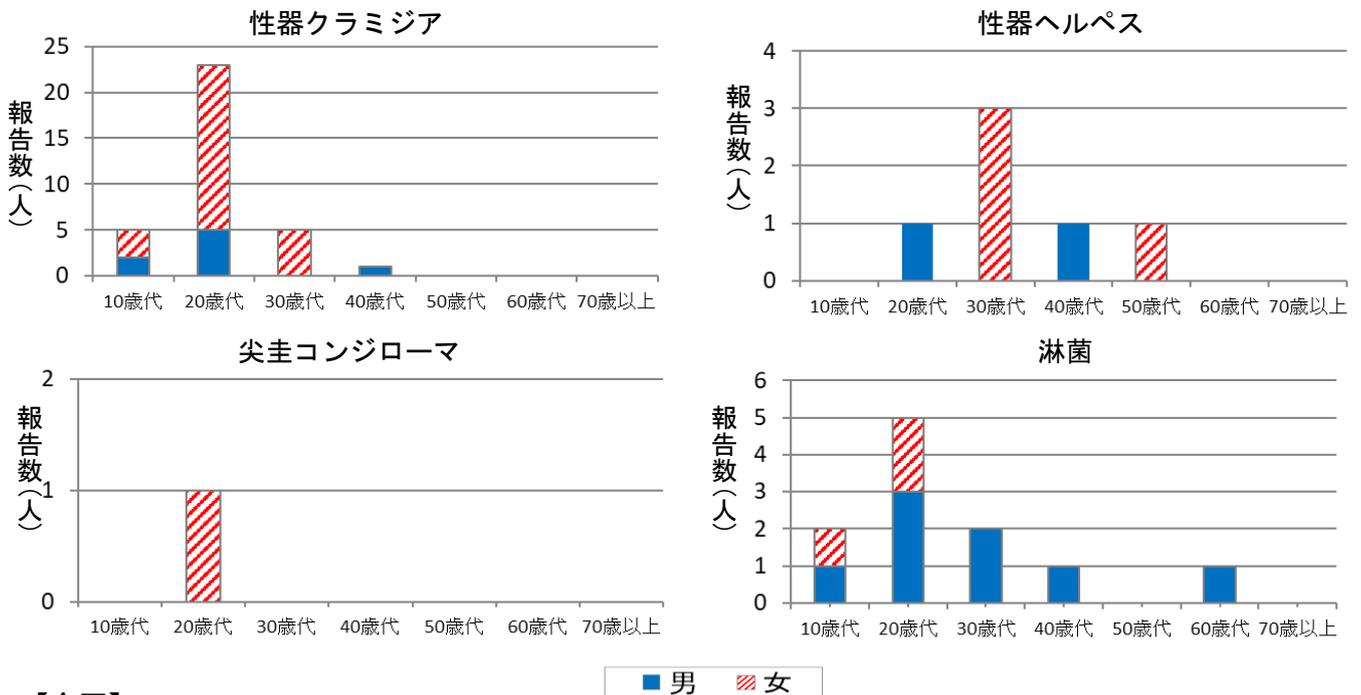
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は52人(4.0)で、前月比113%と増加した。また、昨年11月(3.4)の約1.2倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数34人(2.6)で、前月の約1.4倍、昨年11月の約1.3倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性26人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約0.8倍、昨年11月の1.5倍であった。(男性2人・女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.3倍、昨年11月と同率であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数11人(0.85)で、前月の約1.1倍、昨年11月の約0.9倍であった。(男性8人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,679人(4.8)で、前月比96%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,537人(2.6)で前月比96%、性器ヘルペスウイルス感染症791人(0.81)で前月比93%、尖圭コンジローマ528人(0.54)で前月比95%、淋菌感染症823人(0.84)で前月比101%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比150%と増加した。また、昨年11月(2.6)と同率であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の1.5倍、昨年11月と同率であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,312人(2.7)で、前月比92%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,233人(2.6)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症74人(0.15)で前月比100%、薬剤耐性緑膿菌感染症5人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第49週(12月04日～12月10日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2059	2879	820	465	445	196	91	470	82	184	126
	定点当り	35.50	49.64	51.25	46.50	63.57	39.20	22.75	78.33	41.00	30.67	63.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	140	170	39	24	35	33	9	13	7	4	6
	定点当り	2.41	2.93	2.44	2.40	5.00	6.60	2.25	2.17	3.50	0.67	3.00
RSウイルス感染症	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	178	155	53	54	29	4		7		3	5
	定点当り	4.94	4.31	5.30	9.00	7.25	1.33	0.00	1.75	0.00	0.75	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	293	299	110	75	24	55	7	12		12	4
	定点当り	8.14	8.31	11.00	12.50	6.00	18.33	2.33	3.00	0.00	3.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	193	289	102	47	6	44	29	15		34	12
	定点当り	5.36	8.03	10.20	7.83	1.50	14.67	9.67	3.75	0.00	8.50	12.00
水痘	報告数	1	3	1	2							
	定点当り	0.03	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	58	68	28	9	1	14	5	4		5	2
	定点当り	1.61	1.89	2.80	1.50	0.25	4.67	1.67	1.00	0.00	1.25	2.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	7	16	5	4	2	2	3				
	定点当り	0.19	0.44	0.50	0.67	0.50	0.67	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4										
	定点当り	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	16	9	6	1						
	定点当り	2.33	2.67	3.00	3.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～49週保健所受理分)

2類感染症	結核	106例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	25例(5)
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	167例
			百日咳	5例

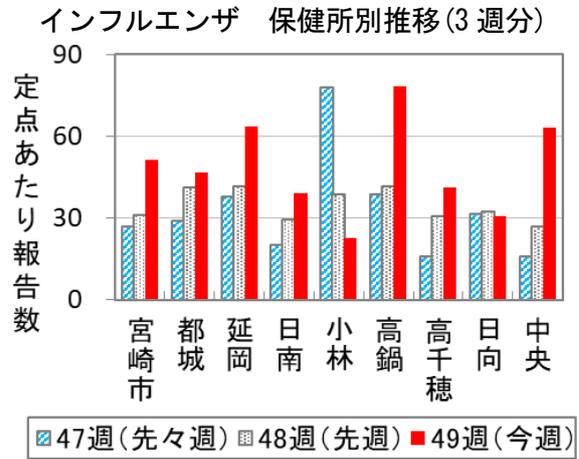
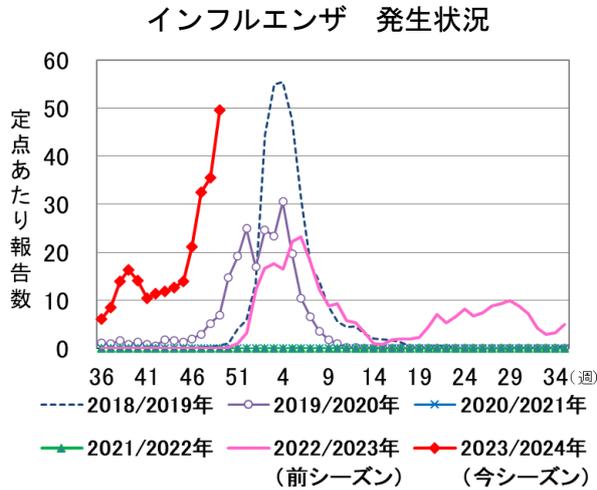
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第 49 週、全国第 48 週（再掲）》

□ 県内第 49 週インフルエンザ発生動向

12月4日～12月10日までの1週間で2,879人(49.6)の報告があった。前週比140%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(2.0)の約25.4倍であった。

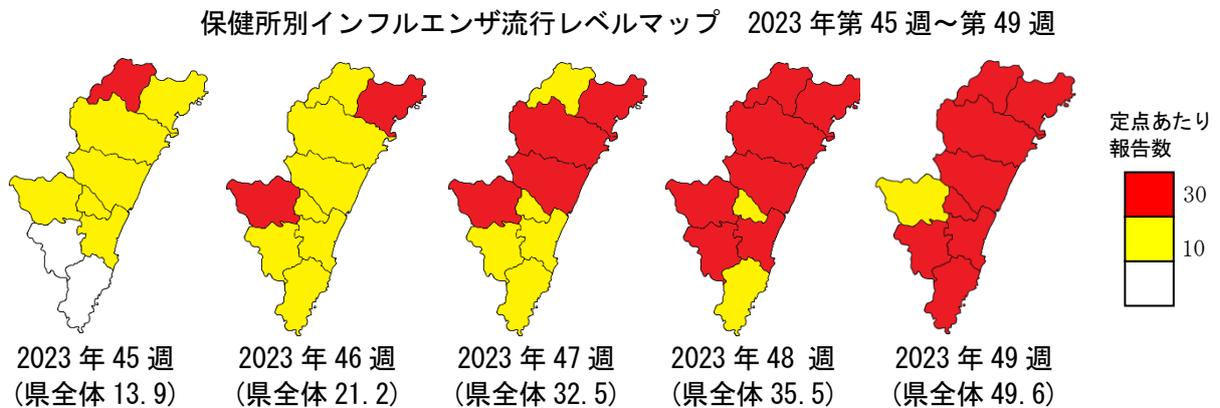
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第45週～第49週)

2,879人 49週	19%	33%	24%	6%	15%	3%
2,059人 48週	19%	35%	23%	5%	15%	3%
1,885人 47週	15%	33%	28%	5%	16%	3%
1,227人 46週	16%	34%	24%	9%	14%	3%
808人 45週	14%	38%	26%	5%	14%	3%

□5歳未満 □5～9歳 □10～14歳 □15～19歳 □20～59歳 □60歳以上



□ 全国第 48 週インフルエンザ発生動向

11月27日～12月3日までの1週間で132,117人(26.7)の報告があった。前週比94%と減少し、北海道(50.5)、宮城県(42.7)、福岡県(40.1)、長野県(40.1)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の15%、5-9歳が31%、10-14歳が23%、15-19歳が7%、20-59歳が20%、60歳以上が4%であった。